記入例

年 月 日

騒音に係る特定施設の種類ごとの数等変更届出書

富山県知事 市町村長

殿

代表者の氏名等を記入する。 (代表権のない者(例えば工場長等)が届 出する場合は、委任状の添付が必要)

届出者 住所〇〇県〇○市〇〇 〇番地 氏名株式会社〇〇 代表取締役〇〇 〇〇

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

富山県公害防止条例第 11	定施	性学状況の記場目記されるフィーナフ						
変更について、次のとおり履	特定施設の設置場所を記入する。							
工場又は事業場	株式会社〇〇 高岡工場 🔸	<u> </u>	(本社等の所在地ではない。)					
の名称	(電話番号) 0766-○○-○○○		年	月	月			
工場又は事業場	高岡市○○○番地	*	齊	理年月	日	年	月	日
の 所 在 地	(郵便番号) 〇〇〇-〇〇〇		X	在十万	Н	7	71	Н
公害防止のための	00 00	*	前	回届	出	第		号
管理責任者職氏名			番		号	NA		,
常時使用する	100人	*	整	理番	号			
従 業 員 数	2 3 3 7 0	<u> </u>		ш				
騒音に係る	Hiller on 1 2 and 10	\• <i>(</i>	1.4.	⊐n. 	н			
特 定 施 設	別紙のとおり	*	施	設 番	号			
ご と の 種 類								
騒 音 の 防 止 の 方 法	別紙のとおり	*	備		考			
変更予定年月日及び変更の理由	○年○月○日 生産量増加のため							
* 市町村長の意見 * 又は審査結果								

- 備考 1 ※印欄には、記載しないこと。
 - 2 届出者が氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

騒音に係る特定施設の種類ごとの数及び騒音の防止の方法の変更について

騒音に係る特定施設の種類					数		使用開始時刻		使用終了時刻			
番号	名	称	型式	力	変更前	変更 後	変更前 (時·分)	変更後 (時·分)	変更前 (時·分)	変更後 (時・分)		
1-ホ	機械プレス		社〇〇〇	980kN (100t)	1	3	8:30	8:30	17:00	17:00		
2	圧縮機		〇〇 社製 〇〇	7.5kW	2	5	8:30	9:00	17:00	16:00		
別表	県公害防 第1の4 番号と種	てい										
騒 音	変更前		l		<u> </u>		変更後		l	1		
の 防 止 の	屋内に設	置					屋内に設置 消音器の認 防音壁の認	置				
方 法												

- 備考 1 騒音に係る特定施設の種類の番号、名称欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の4に掲げる項番号 及び(1)、(2)等の細分があるときは、その番号並びに名称を記載すること。
 - 2 騒音の防止の方法の欄の記載については、変更前及び変更後の内容を対照させ消音器の設置、音源室内の防音装置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じている措置又は講じようとしている措置及び境界線上における音の大きさ(防音措置後の見込みの音を含む。)等の概要をできる限り図面、表等を利用して明らかにすること。

富山県公害防止条例施行規則別表第1の4

1 金属加工機械

- (1) 圧延機械(原動機の定格出力の合計が22.5キロワット以上のものに限る。)
- (2) 製管機械
- (3) ベンデイングマシン(ロール式のものであつて、原動機の定格出力が3.75キロワツト以上のものに限る。)
- (4) 液圧プレス(矯正プレスを除く。)
- (5) 機械プレス(呼び加圧能力 294 キロニュートン以上のものに限る。)
- (6) せん断機(原動機の定格出力が3.75キロワット以上のものに限る。)
- (7) 鍛造機
- (8) ワイヤーフオーミングマシン
- (9) ブラスト(タンブラスト以外のものであつて、密閉式のものを除く。)
- (10) タンブラー
- (11) 自動やすり目立機(原動機の定格出力が 1.5 キロワツト以上のものに限る。)
- (12) ニユーマチツクハンマー(原動機の定格出力が3.75キロワツト以上のものに限る。)
- (13) 高速切断機(原動機の定格出力が2.25 キロワツト以上のものに限る。)
- 2 圧縮機、送風機及び蒸気タービン(原動機の定格出力が7.5 キロワツト以上のものに限る。)
- 3 粉砕機
 - (1) 土石用又は鉱物用の破砕機、摩砕機、ふるい及び分級機(原動機の定格出力が7.5キロワツト以上のものに限る。)
 - (2) 食用品加工用粉砕機(ロール式のものであつて、原動機の定格出力が7.5 キロワット以上のものに限る。)
 - (3) その他の用に供する粉砕機(破砕機及び摩砕機を含み、原動機の定格出力が 7.5 キロワット以上のものに限る。)
- 4 繊維機械
 - (1) 織機(原動機を用いるものに限る。)
 - (2) 紡績機械
 - (3) 編組機(原動機を用いるものに限る。)
 - (4) 撚糸機(原動機を用いるものに限る。)
- 5 建設用資材製造機械
 - (1) コンクリートプラント(気ほうコンクリートプラントを除き、混練機の混練容量が 0.45 立方メートル以上のものに限る。)
 - (2) アスフアルトプラント(混練機の混練重量が200キログラム以上のものに限る。)
- 6 木材加工機械
 - (1) ドラムバーカー
 - (2) チッパー(原動機の定格出力が 2.25 キロワット以上のものに限る。)
 - (3) 砕木機
 - (4) 帯のこ盤(製材用のものにあつては原動機の定格出力が15キロワツト以上のもの、木工用のものにあつては原動機の定格出力が2.25キロワツト以上のものに限る。)
 - (5) 丸のこ盤(製材用のものにあつては原動機の定格出力が15キロワツト以上のもの、木工用のものにあつては原動機の定格出力が2.25キロワツト以上のものに限る。)
 - (6) たてのこ盤(原動機の定格出力が15キロワツト以上のものに限る。)
 - (7) かんな盤(原動機の定格出力が2.25キロワツト以上のものに限る。)
- 7 抄紙機
- 8 印刷機械(原動機を用いるものに限る。)
- 9 合成樹脂用射出成型機
- 10 鋳型造型機(ジョルト式のものに限る。)
- 11 電気炉(変圧器の定格出力が500キロボルトアンペア以上のものに限る。)
- 12 フアスナー自動植付機
- 13 集じん装置(送風機を使うものに限る。)
- 14 デイゼルエンジン及びガソリンエンジン(移動式のもの及び出力が7.5 キロワツト未満のものを除く。)
- 15 走行クレーン
 - (1) 天井走行クレーン(原動機の定格出力が7.5キロワツト以上のものに限る。)
 - (2) 門型走行クレーン(原動機の定格出力が7.5キロワット以上のものに限る。)